「IBM i お役立ち機能ご紹介」ではIBM Powerの簡単に使える機能を12回シリーズでご紹介します。 IBM i お役立ち機能ご紹介の栄えある-第1回-の内容は 「~横132 ×たて27で5250を使ってみよう。ついでにマウスも使ってみよう」です。

・ACS(IBM i Access Client Solutions)を使って画面イメージを簡単モダナイゼーションする方法を紹介していただきます。

画面を広くしたり、マウス使ったり、そして5250のグリーン画面からの脱却! ブラウザを使わず ACS で 5250CUI画面を簡単モダナイゼーションする方法は おなじみのグリーン画面がWeb化されたように見えて驚きます。

早速次の資料をご覧ください。

☆IBM Powerの導入のご相談はJBCCへ!☆

お客様の環境や課題に応じてオンプレミス、クラウド、ハイブリッドクラウドを ご提案させていただきます。 また、IBM Powerのみならずお客様のインフラ全体を最適化のご提案が可能です。

ご相談はインフラクリニック

<u>https://www.jbcc.co.jp/products/solution/pfs/free/modernization_clinic/</u> またはメール(<u>mktg@jbcc.co.jp</u>)でお問合せください。



IBM i お役立ち機能紹介 - 第1回 -

横132 ×たて27で5250を使ってみよう。 ついでにマウスも使ってみよう

IBM

日本アイ・ビー・エム株式会社 テクノロジー事業本部 Power Systems テクニカルセールス 澤田英寿

© IBM 2021

シンプルに、ACS(IBM i Access Client Solutions)を使って 画面イメージを簡単モダナイゼーションする方法をお教えします。 まずは、5250画面をより広くする方法です。

- 設定は簡単です。
 - ACSの構成ー>設定:<u>画面サイズ</u>の変更で、縦横を24×80 →27×132に変更して「OK」を押します。

✓ 接続	接続	
ー拡張 一関連プリンター	セッション名	DEMO00
TLS/SSL SLP	宛先アドレス	192.168.1.100
✓ 画面 ──フォント	宛先ポート	23
画面印刷 > 設定	プロトコル	IBM i Access Client Solutions 設定を使用します 📀
- 開始オプション	ワークステーション ID	24x80
言語	画面サイズ	✓ 27x132
	ホスト・コード・ページ	939日本 (拡張ローマ字) 😳
	Unicode オプション	
	Unicode データ・ストリームを使用可能にする	○ はい 🝳 いいえ
	○ Unicode フィールド内の DBCS を使用可能にする	○ はい . ● いいえ
	Unicode フィールド長の保護	● はい ○ いいえ
	自動接続	● はい ─ いいえ
	自動再接続	Ο はい ○ いいえ
	OK キャンセル キー	ボード

© IBM 2021

TRM

ビフォー:24 X 80 サイズ



これだけで、たとえばQuery for iでの顧客検索画面では

住所の項目が表示できるようになります。

アフター:27 X 132サイズ

		報告書	の表示		
			報告書の幅		: 178
行の位	置指定		桁移動		•
行	+1+	3	+ 4 +	5+6.	+7
	得意先コード	得意先名	郵便番号	電話番号	FAX番
000001	H00002	一番町食品	2222223	0373827383	037382738
000002	H00003	本岩屋	1010032	0374859278	037485927
000003	H00004	勝時商店	1040054	0354734932	035473493
000004	H00005	吟坐屋	1040061	0354776388	035477638
000005	H00006	信登美スポーツ	1040041	0339677362	033967736
000006	H00007	スポーツニ本端	1030027	0384748499	038474849
000007	H00008	蚊帳葉スポーツ店	1030025	0384748937	038474893
800000	H00009	古殿間スポーツ	1030001	0348593783	034859378
000009	H00010	スポーツ博労町	1030002	0384848384	038484838
000010	H00011	SPORTS八町	1040032	0394948333	039494833
000011	H00012	スポーツの八須	1030028	0388747838	038874783
000012	H00013	京橋運道具店	1040031	0335276474	033527647
000013	H00014	焼田スポーツ	1040033	0324356484	032435648
000014	H00015	安沢冨運道具店	1060045	0374849732	037484973
000015	H00016	場台SPORTS	1350091	0374843583	037484358
000016	H00017	古橋SPORTS	1050003	0384746573	038474657
					続く
F3= 終了	了 F12= 取り消	肖し F19= 左	F20= 右 F21=	分割	

				報告書の表え	示	
						報告書の幅: 178
行の位	置指定・・・・					桁移動
行	+1+		+	.5+6.	+7+	+8+9+10+11+12
	得意先コード	得意先名	郵便番号	電話番号	FAX番号	住所1
000001	H00002	一番町食品	2222223	0373827383	0373827384	東京都千代田区一番町3-54-21
000002	H00003	本岩屋	1010032	0374859278	0374859279	東京都千代田区岩本町2-24-2
000003	H00004	勝時商店	1040054	0354734932	0354734931	東京都中央区勝どき1-1-1
000004	H00005	吟坐屋	1040061	0354776388	0354776389	東京都中央区銀座3-2-6
000005	H00006	信登美スポーツ	1040041	0339677362	0339677361	東京都中央区新富3-2-6
000006	H00007	スポーツニ本端	1030027	0384748499	0384748498	東京都中央区日本橋4-2-5
000007	H00008	蚊帳葉スポーツ店	1030025	0384748937	0384748937	東京都中央区日本橋茅場町2-4-15
000008	H00009	古殿間スポーツ	1030001	0348593783	0348593783	東京都中央区日本橋小伝馬町6-4-3
000009	H00010	スポーツ博労町_	1030002	0384848384	0384848384	東京都中央区日本簡馬喰町8-2-1
000010	H00011	SPORTS八町	1040032	0394948333	0394948333	東京都中央区八丁堀2-11-1
000011	H00012	スポーツの八須	1030028	0388747838	0388747838	東京都中央区八重洲1-1-6
000012	H00013	京橋運道具店	1040031	0335276474	0335276474	東京都中央区京橋3-2-4
000013	H00014	焼田スボーツ	1040033	0324356484	0324356485	東京都中央区新川3-2-61
000014	H00015	安沢富連道具店	1060045	0374849732	0374849733	東京都港区麻生九番1-43-2
000015	H00016	場台SPORTS	1350091	0374843583	0374843584	東京都港区台場6-3-2
000016	H00017	古橋SPORTS	1050003	0384746573	0384746574	東京都港区西新橋4-5-2
000017	H00018	柴港園スポーツ	1050011	0338886633	0338886633	泉京都港区之公園3-3-4
000018	H00019	スホーツの見田	1080073	0343239874	0343239874	<u>東京都港区二田4-6-2</u>
000019	H00020	SPORTS三本木	1060032	0338472734	0338472734	東京都港区六本木2-1-12

ビフォー:24 X 80 サイズ

ページ/行

様式 TOKMSR

> 電話番 03-504-03-535-03-964-03-934-03-360-03-860-03-354-03-368-03-749-続く...

郵便番号

マスター明細リス . A1 . OGPL

TOKMSF . 21/08/29 . 10:02:09

たとえば印刷のスプールファイルの表示画面では

印刷のヘッダーが確認できるようになります。

アフター:27 X 132サイズ

ファイル : QPQUPI 制御 検索	スプール・ファイルの表示 RFIL 	ページ/行 1/24 桁 1 - 75 5+6+	5	ファイル: QPQUPRFII 制御 検索	.3+4+5	スプール・ファイルの ⁹	表示
			Q T				得意 QUERY プログラム名 ライブラリー名 ファイル ライブ TOKMSP QEOI 日付 時刻
21/08/29 10:02:09 得意先 得意先 番号 仮名 01010 アイ 01020 アイ 01030 アイが 01040 アイ 01050 アイ 01050 アイ 01050 アイ 01060 アイ アメ トウンヤ 01060 アイ ア3= 終了 F12= 取消し	得意先 意字旅館 阿井水工業 相川工業 相阿井族品K.K 阿井自動車 F19= 左 F20= 右 F	住所1 東京京都設谷区区 東京京都部世州区 東京都都品川区 東京都都甚四/ 東京都書港区 24= キーの続き	売く	21/08/29 10:02:09 得意先 得意先 番号 仮名 01010 74 13hy 01020 74 797 39 01030 74か7 397 39 01040 74 1337かけ 01050 74 ジョ3かけ 01050 74 ジョ3かり 01050 74 ジャ 597 01070 74か7 カメラ 01080 74か7 デンキк.к	得漢阿阿相加 意字井井川井井井井川川川 和村井井井川川川町 相相相相 K K K K K K K K K K K K K	住 東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東東	住 (住) (住) (住) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日

たとえばILE RPGの開発画面は

ILERPGのソースファイルの更新日付が確認 できます

ビフォー:24 X 80 サイズ

アフター:27 X 132サイズ

桁 .	: 1 71 走査検索	QEOL/QRPGLESRC	桁	: 1 100	走査	検索	QEOL/ORPGLESRO
SEU==>		JSONRPG	SEU==>				JSONRPG
FMT **	$\dots + \dots +$	+ 6+ 7	FMT **	+ 1+ 2+ 3	+ 4+ 5+	$\overline{6}$ + 7+ 8+ 9+ 0	
	***************** データの始め ********************	*****		**************** データの始め) ***********************	***************************************	*****
0001.00	**free		0001.00 *:	*free			210507
0002.00	<pre>ctl-opt dftactgrp(*no) main(main);</pre>		0002.00	<pre>ctl-opt dftactgrp(*no) main(m</pre>	main);		210507
0003.00	dcl-proc main;		0003.00	dcl-proc main;			210507
0004.00	exec sql insert into stationp		0004.00	exec sql insert into	o stationp		210507
0005.00	<pre>select * from JSON_TABLE(</pre>		0005.00	select * from JSON TA	ABLE (210507
0006.00	SYSTOOLS.HTTPGETCLOB(0006.00	SYSTOOLS.HTTP	PGETCLOB (210507
0007.00	<pre>'http://express.heartrails.com/api/json?m</pre>	ethod=getStations&li	0007.00	<pre>'http://express.heart</pre>	trails.com/api/json?method=g	etStations&line=JR%E5%B1%B1%E6%89%8B%E7%B7	210507
0008.00	<pre>\$.response.station[*]'</pre>		0008.00	\$.response.s	<pre>station[*]'</pre>		210507
0009.00	COLUMNS(prev VARGRAPHIC(10) PATH '\$.prev',	0009.00	COLUMNS (prev VARGRAPHIC(10) PATH	'\$.prev',	210507
0010.00	name VARGRAPHIC(10) PATH '\$.name',	0010.00		name VARGRAPHIC(10) PATH	'\$.name',	210507
0011.00	next VARGRAPHIC(10) PATH '\$.next'	0011.00		next VARGRAPHIC(10) PATH	'\$.next'	210507
0012.00			0012.00				210507
0013.00) AS X;		0013.00		AS X;		210507
0014.00	end-proc;		0014.00	end-proc;			210507
	**************** データの終わり *******************	*****		***************** データの終わ!	۳ ************************************	*****	*****



次にファンクションキー(F x x キー)を3Dボタンにして、マウス が使えるようにします。

設定は、ACSの編集->設定->ホットスポットの画面で、下記のようにファンクション/数字ホットスポットにチェックして「OK」を押します。

ファイル	<u> 篇集</u> 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ		
6 6 6	元に戻す 🛛 🔤 🐉 🛃 🚢 💩 🚢 🍺 🖤		URL ホット・スホット
MA 次	切り取り コピー 特殊コピー をない。 りとステム : DEMO00		 □ URL をホット・スポットとして表示する ✓ URL を無保護フィールドに表示しない
	BD9fdf 分割貼り付け フィールドのクリア タスク	_	 下線 3-D ボタン
	スクラッチパッドへ送信 タスク		ファンクション/数字ホット・スポット
	マーク解除 すべて選択 ライブラリー、およびフォルダー		🗹 PFnn 🛛 FPnn 🔽 Fnn 🗌 nn
	設定 外観 ▶ 6 . 1世1 ボッブアップ・キーパッド ▶		✓ 3-D ボタンで表示
	7・システムの ^{ツールパー} ▶ 8・問題処理 ^{終7…} ▶ 1	┝	マクロ・ホット・スポット
	9. メニューの ホット・スポット	٦/	○ マクロの実行
	10. If $10 \text{ to } 10^{-1} \text{ cost}$ 10^{-1} cost		 3-D ボタンで表示
	ウォーターマーク 変換テーブル UDC マッピング・エディター		コマンドの指示と選択
選	択項目またはコマンド		カーソル位置で実行
===	>		○ カーソル位置でストリングを入力
F3: F2:	= 終了 F4=ブロンブト F9=コマンド の複写 F12= 取り消し F13= 情報援助 3= 初期 メニュー の設定		OK キャンセル デフォルト ヘルプ



これだけで、ファンクションキー(Fxx)にマウスが使用できるよ うになります。

ビフォー:ホットスポットなし

アフター;ホットスポットあり

MAIN	IBM I メインメニュー		MAIN	IBM I メイン	ィメニュー	システム :	DEMO00
次の 1 つを選択してください。		システム : DEMOOO	次の 1 つを選択	してください。			
 ユーザー・タスク オフィス・タスク オフィス・タスク 汎用システム・タブク プログラミング ブログラミン 通信 予ムテムの定義または 問題処理 メニューの表示 10. 情報援助オプション 11. IBM I ACCESS のタス会 	ー, およびフォルダー 変更 7		1.ユーフ 2.れ、フ 3.、 1.フ フ 2. 1. フ フ の 5. 2. 月 2. 月 2. 月 2. 月 2. 月 2. 月 2. 月	ー・タスク ス・タスク ステム・タスク レ, ライブラリー, およびフ ラミング ムの定義または変更 =	゚゚゚オルダー		
90.サインオフ			90.サインス	オフ			
選択項目またはコマンド ===>			選択項目または二	<u>コマンド</u>			
F3=終了 F4=プロンブト F9= F23=初期 メニューの設定	マンドの複写 F12=取り消し		===> <mark>F3</mark> = 終了 <mark>F4</mark> =7 <mark>F23</mark> = 初期 メニュー	[*] ロンプト <mark>F9</mark> =コマンドの複写 の設定	<mark>F12</mark> = 取り消し	<mark>F13</mark> = 情報援	助



• 設定は、画面履歴をとりたい画面(下記ではQueryの処理)の最初を表示して、 ACSの表示->画面ヒストリーにチェックするだけです。

ファイル 編集 表示 送信 アクション 堅 № 色 まま イメニュー ソールバー・ ソールバー・テキスト クイック提表 マクション マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マールバー・ マーン マールバー・ マーン マーン マーン マーン マーン マーン マーン マーン	? ? ヘルァ ᠉≧≧≧₿♡ QUERY 処理 /て,実行キーを押してください。	ファイ) 動 配 (
	・・・ _ 1= 作成, 2= 変更, 3= コピー, 5= 表示, 6= 定義の印刷 8= パッチで実行, 9= 実行 ・・・ <u>TOK</u> 名前, リストは F4+- 名前, *LIBL, リストは F4+-	

画面下部に画面履歴のボードが表示されます

ファイル 編集 表	示 通信 アクション	/ ウィンドウ ヘルプ							
B Pa 🕼 🟦 🛃 🗐	🥑 💷 🍓 🐻 🔡 💷	💷 💥 🛃 🖬 🖓 📖	9						
				QUERY	処理				
選択	項目を入け	カして,実	行キーを	押してく	ださい。				
	プション				1= 作成, 5= 表示,	2= 変更, 6= 定義	。3=コの印刷。		4= 削除
QU	ERY 定義 ライブラ		TOK QGPL		8日 ハッ子 名前, リ 名前, *	で美行, ストは m LIBL, リ	9 単 美行 4キー ストは 1	F4+-	
		ם_רי° ח	E5	是新表示	F12	7 り 消 し			
QUERY	オプショ	ン処理がェ	E常に完了	てした。					
MA*	A								05/026
									• 9 188 29 26:23
画面ヒストリ	- · #- F					画面ヒストリーのアー	ーカイブ		- ?
25.05 1	高田 2	(6)(6) 2	200 A	and the	W / M 6	新新 7	(市)(市) (日)	20 M M	表示 10
1 bund	mt8) 2	mpl 3	musi 4	muli 5	muli 6	miski /	1000 8	mm 9	M(S) 10

IBM



UDERX 短理 選択項目を入力して,実行キーを押してください。 オプション ・・・ 」= 作成, 2= 変更, 3= コピー, 4= 削除 5= 表示, 6= 定義の印刷 5= 表示, 7= 定義の印刷
選択項目を入力して、実行キーを押してください。 オプション・・・・ _ 1= 作成、 2= 変更、 3= コピー、 4= 削除 5= 表示、 6= 定義の印刷 8= パッチで実行
オプション ・・・・1=作成, 2=変更, 3=コピー, 4=削除 5=表示, 6=定義の印刷 8=パッチで実行
QUERY 定義 <u>TOK</u> 名前, リストは F4+- ライブラリー <u>QGPL</u> 名前, *LIBL, リストは F4+-
図書 終了 図書プロンブト 図書 最新表示 1012 = 取り消し QUERY オプション処理が正常に完了した。
MA* A 05/026
画面ヒストリー・ボード

画面のヒストリーアーカイブを押すと PC上のフォルダーに画面が取得されます その後、下記のビューアーで確認できます。

IBM



IBM

このビューアーで画面履歴を確認できます。

ビューアーで確認できます。 【 < 画面のアーカイブ - 1) 】 『	
QUERY 処理	F
選択項目を入力して、実行キーを押してください。	
オプション・・・・ _ 1=作成、2=変更、3=コピー、4=削除 5=表示、6=定義の印刷 5=まで本生にまたまた。	
QUERY 定義 <u>TOK</u> 名前, リストは F44- ライブラリー <u>QOPL</u> 名前, *LIBL, リストは F44-	
■=終了 国=プロンプト 国=最新表示 理報=取り消し	

このボタンを押すと 画面をテキストファイルで 保管することもできます。

OUERY 処理

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

オプション

1= 作成, 2= 変更, 3= コピー, 4= 削除 5= 表示, 6= 定義の印刷 8= バッチで実行, 9= 実行
 QUERY 定義
 TOK
 名前、リストは F4キー

 ライブラリー・・
 QGPL
 名前、*LIBL, リストは F4キー

F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F12= 取り消し QUERY オプション処理が正常に完了した。

最後に、画面の外観のモダナイゼーションです。

設定は、ACSで、

- ・背景:メニューより、「編集」→「設定」→「外観」→「カラー」→[その他の背景」→グレーを選択
- ・文字:メニューより、「編集」→「設定」→「外観」→「カラー」→[フィールド・カラー」
- →黒を選択(デフォルト:緑) 紺(デフォルト:青緑) ・マウスホイールによる画面のUp・Down操作を可能にするには「編集」→「設定」→「マウスホイール」 で右図を設定

🛑 🗆 🔍 マウス・ホイー	JL (A - 118.103.20.82)
☑ マウス・ホイールを	使用可能にする
キーなし	
ホイール・アップ	前ページ 📀
ホイール・ダウン	次ページ 📀

・画面背景を、グレー化/文字(フィールドカラー)を、黒と青に変更 ・ファンクションキー(FXXの機能キー)を3Dボタン化(前ページ参照) ・マウスホイールによる画面のUp・Down(前ページ・次ページがある場合



ブラウザを使わず ACS で 5250CUI画面を簡単モダナイゼーション

TEM



Windows10対応ACSの最新機能を活用して画面イメージをモダナイゼーション

- 例えば、**画面背景をグレー化**&文字(フィールドカラー)を黒と青に変更
- ファンクションキーを3Dボタン化、クリックで機能実行
- マウスホイールによる画面のアップ・ダウン
- 画面サイズの縦横を24×80 →27×132に変更 (参照: https://www.imagazine.co.jp/21717-2/)
- **プッシュボタン**を左クリックで機能実行
- **ラジオボタン、チェックボックス、メニューバー**の組み込み
- 右クリックでプルダウンメニュー
- 従来のClient Access for i と同じく、Windowsプリンター・ドライバーが使用可能
- PC用JAVAはOracle JDK (サポート有償)のほか、IBM版Open JDK (無償版あり)でも稼働 (参照: https://ibm.biz/acsjapan (英語))

© IBM 2021

			/
		-	
		•	
		v	

ワークショップ、セッション、および資料は、IBMによって準備され、IBM独自の見解を反映したものです。それらは情報提供の目的のみで提供されており、いかな る読者に対しても法律的またはその他の指導や助言を意図したものではなく、またそのような結果を生むものでもありません。本資料に含まれている情報については、 完全性と正確性を期するよう努力しましたが、「現状のまま」提供され、明示または暗示にかかわらずいかなる保証も伴わないものとします。本資料またはその他の 資料の使用によって、あるいはその他の関連によって、いかなる損害が生じた場合も、IBMは責任を負わないものとします。本資料に含まれている内容は、IBMまた はそのサプライヤーやライセンス交付者からいかなる保証または表明を引きだすことを意図したものでも、IBMソフトウェアの使用を規定する適用ライセンス契約の 条項を変更することを意図したものでもなく、またそのような結果を生むものでもありません。

TEM

本資料でIBM製品、プログラム、またはサービスに言及していても、IBMが営業活動を行っているすべての国でそれらが使用可能であることを暗示するものではあり ません。本資料で言及している製品リリース日付や製品機能は、市場機会またはその他の要因に基づいてIBM独自の決定権をもっていつでも変更できるものとし、い かなる方法においても将来の製品または機能が使用可能になると確約することを意図したものではありません。本資料に含まれている内容は、読者が開始する活動に よって特定の販売、売上高の向上、またはその他の結果が生じると述べる、または暗示することを意図したものでも、またそのような結果を生むものでもありません。 パフォーマンスは、管理された環境において標準的なIBMベンチマークを使用した測定と予測に基づいています。ユーザーが経験する実際のスループットやパフォー マンスは、ユーザーのジョブ・ストリームにおけるマルチプログラミングの量、入出力構成、ストレージ構成、および処理されるワークロードなどの考慮事項を含む、 数多くの要因に応じて変化します。したがって、個々のユーザーがここで述べられているものと同様の結果を得られると確約するものではありません。 記述されているすべてのお客様事例は、それらのお客様がどのようにIBM製品を使用したか、またそれらのお客様が達成した結果の実例として示されたものです。実

際の環境コストおよびパフォーマンス特性は、お客様ごとに異なる場合があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Db2、Power Systems、POWER6、POWER6+、POWER7、POWER7+、POWER8、 POWER9は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporationの商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

インテル, Intel, Intelロゴ, Intel Inside, Intel Insideロゴ, Centrino, Intel Centrinoロゴ, Celeron, Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, およびPentium は Intel Corporationまたは子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows NT および Windowsロゴは Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

ITILはAXELOS Limitedの登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは Oracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。